

西学区防災キャンプ活動

※世帯数及び人口は令和3年3月31日現在

北区	小学校区・地区名	西学区	世帯数	9,114世帯	人口	19,328人
----	----------	-----	-----	---------	----	---------

■組織の概要

西学区は岡山市の中央部に位置し、面積3.3km²、人口19,328人で北は岡山ドーム、北長瀬駅、南は笹ヶ瀬川まで南北に長い地形です。そのため南の笹ヶ瀬川に近い地区は海拔ゼロメートル地域となっている。西学区で現在住宅地となっている地域は、多くが以前は水田であり用水も学区内を縦横に還流していたため大地震時には液状化が危惧される。西学区では12月5日(日)に令和3年度第2回防災キャンプを約120名の参加で西学区安全・安心ネットワークを中心に連合町内会、各種団体、学校園と指定避難所の西小学校と連携し「継続」をキーワードに開催した。

■活動の取組内容

子どもたちを中心に地域の大人たちが絆を深め地域の防災意識の向上を図ることを目的とした。避難所準備、開設、運営についてグループワークで意見を出し合い課題を共有した。「誰かがする」ではなく「誰もがができる」ように参加者全員が準備から片付けまで担う「西学区モデル」として実施し、実際に災害が起こった場合でも避難者全員で避難所受付、開設、運営が出来るように訓練を繰返す内容とした。小学生の防災知識取得と意識向上のため中学生による防災まちがいさがしなどのゲームや新聞紙を使った食器づくりなどの防災工作を行った。また中学生は地域の大人たちと共同して、発泡スチロールベッドの組み立て、毛布を使って家族の避難スペースの取り方、避難所内の案内表示を掲示、防災講習の机イスの設置支援などを行い、又訓練終了後片付けと清掃をした。



（左）中学生による防災ゲーム（右）家族で協力して発泡スチロールベッドの組み立て

■活動の効果

連合町内会、各種団体、学校園から複数回の実行委員会、スタッフ学習会に参加があり防災について考え、話し合った、訓練は「繰り返す」と「継続」が重要との認識を共有できた。

■活動の成果（課題）

連合町内会、各種団体、学校園、中学生ボランティア、小学生と保護者の参加があり「コロナ禍でも災害は起こる」ことを共通理解された。若い保護者、中学生の多くが初めての防災訓練参加で「初めて知った」「今後防災について家族で話すきっかけになった」とのアンケート調査結果が多数あった。課題として西小学校と連携した避難所の準備、初動のマニュアル作りがあげられた。

■工夫していること

中学生がジュニアリーダーとして活躍できる場をつくり世代間をつなぐ役割として各世代と共に学ぶ活動内容を取り入れた。

小学生を次のジュニアリーダーとして育成するため防災への興味、関心を引く活動内容とする。



（左）避難所受付訓練（右）小学生・中学生は地域の人と水消火器訓練

【協働する団体等】

西学区連合町内会・西学区防災部会・西地区民生委員児童委員協議会・西学区婦人会・西学区老人クラブ連合会・西学区体育協会・西学区愛育委員会・西学区栄養改善協議会・西学区交通安全母の会・西コミュニティ協議会・西小学校PTA・西小学校・にしっこクラブ・御南中学校・岡山市今認定こども園・御南西公民館